

SHINWA

# FRESH FLASH

INFORMATION

VOL.24, FEB.1995

## SM - 6 によるフロンガスの分析 (No. 1)

フロンガス (フロン - 12、フロン - 113 など) は、大気汚染物質として、近年、厳しく規制されています。そのため、種々のフロンガス成分をガスクロマトグラフィーで分離、分析し状況を把握することが必要です。

従来、フロンガスの分析はパッドカラムとしては、Porapak Q が使用されていましたが、フロンガス成分によっては分離不十分または、全く分離せず良好な分析結果が得られませんでした。

弊社では、より多くのフロンガス成分の分離を可能にし、定性、定量に良好なカラムとして SM-6 をご紹介いたします。

以下、SM-6 カラムの特長、分析例および Porapak Q との比較例をご紹介いたします。

### 特長

Freon-115, Freon-12, Freon-114, Freon-22, Freon-11, Freon-113の6成分は完全に分離します。

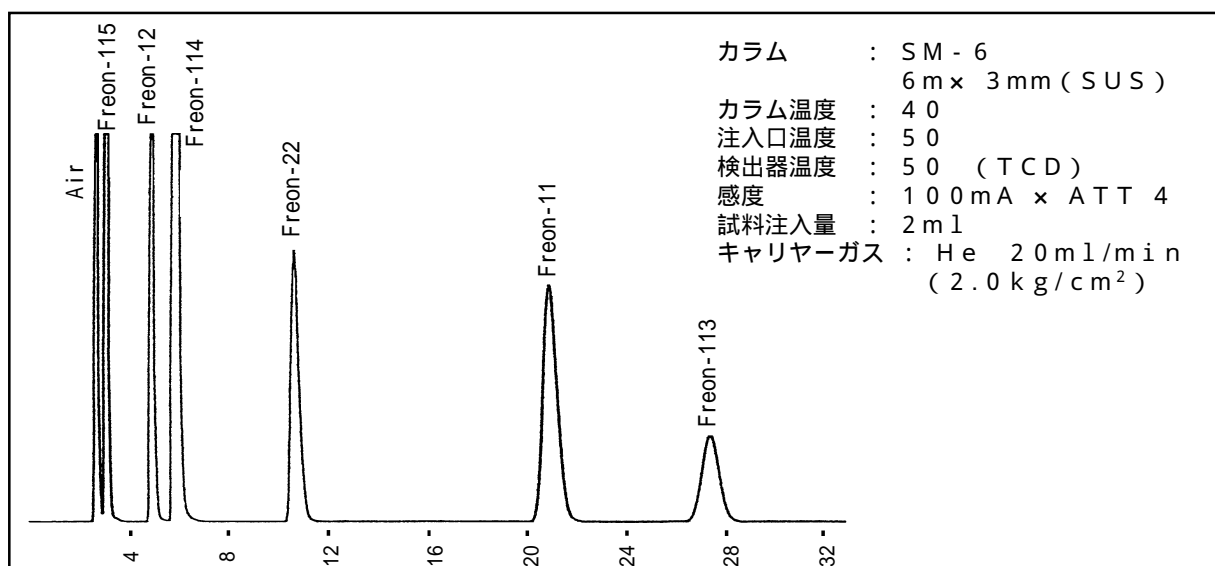
Porapak Q は Freon-115 と Freon-12 は分離しません。

Freon-125, Freon-32, Freon-134a, Freon-22 の4成分は完全に分離します。

Freon-124, Freon-22, Freon-152a の3成分は等間隔に分離します。

(Porapak Q は全く分離しません。)

### 分析例 フロンガス6成分の分析



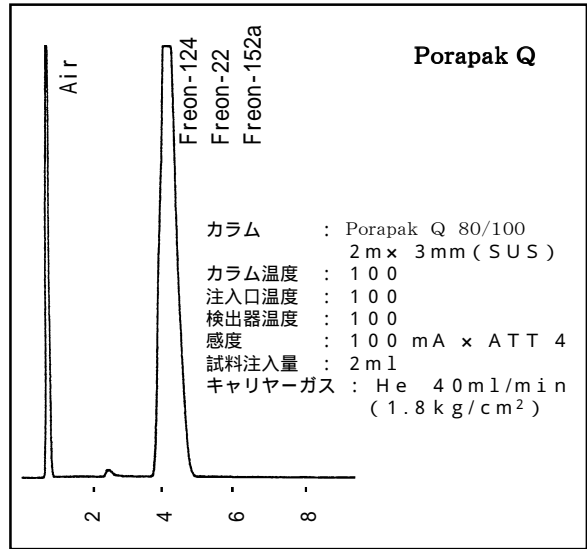
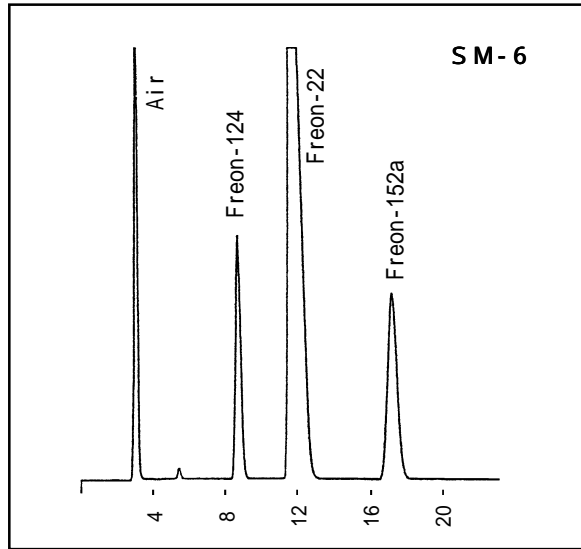
Chromato Packings Center は信和化工株式会社の登録商標です。



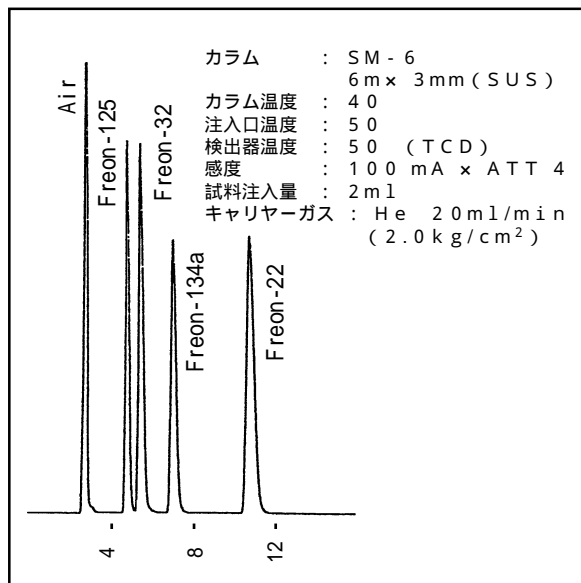
Chromato Packings Center  
信和化工株式会社

〒612-8307 京都市伏見区景勝町50番地  
電話 075-621-2360  
FAX 075-602-2660  
e-mail: info@shinwa-cpc.co.jp

Freon-124, Freon-22, Freon-152a の分析 ( Porapak Q との比較 )



分析例



化合物名	分子式	分子量
Freon-115	CC1F <sub>2</sub> -CF <sub>3</sub>	154.48
Freon-12	CC1 <sub>2</sub> F <sub>2</sub>	120.93
Freon-114	CC1 <sub>2</sub> F-CC1F <sub>2</sub>	170.94
Freon-124	CHC1F-CF <sub>3</sub>	136.48
Freon-22	CHC1F <sub>2</sub>	86.48
Freon-152a	CH <sub>3</sub> -CHF <sub>2</sub>	66.05
Freon-11	CC1 <sub>3</sub> F	131.38
Freon-113	CC1F <sub>2</sub> -CC1F <sub>2</sub>	187.39
Freon-32	CH <sub>2</sub> F <sub>2</sub>	52.02
Freon-125	CHF <sub>2</sub> -CF <sub>3</sub>	120.02
Freon-134a	CH <sub>2</sub> F-CF <sub>3</sub>	102.03

仕様と価格 標準パックドカラム ( データ付 ) ステンレスカラム

P / N	品名	最高使用温度	カラムサイズ	価格 (円)	分析用途
ZS-71	SM-6	40	6.0 m x 3 mm	62,000	LPG, フロンガス

6 mのカラムは3 mカラム2本をカラムジョイントで接続しています。

仕様及び価格は改良のため予告なく変更させていただくことがございます。予めご了承下さい。

発売元

取扱店



〒101-0047 東京都千代田区内神田1-16-10 島津神田ビル3F  
TEL 03-3233-0321 FAX 03-3233-0325

〒530-0012 大阪市北区芝田1-1-4 阪急ターミナルビル14F  
TEL 06-6371-5278 FAX 06-6372-2600

